

ACZUMO あぢゅも

見たことある？ 聞いたことある？ ドラマや映画・落語・小説の中の鍼灸

No. 12

皆さんはドラマや映画・落語・小説の中に鍼灸や鍼灸師が出てくる場面を見たことがありますか？

今回は鍼灸が登場するドラマや映画・落語・小説などを紹介しつつ、それぞれの場面での鍼灸についてお話しさせていただきます。

話してくれるのは、神奈川県鍼灸師会の未公認キャラしんの助&キユーです。



しんの助
キユーの先輩鍼灸師。ドラマや映画に登場する鍼灸の場面に注目してしまいがち。

キユー
鍼灸師になつて3年目。まだまだ毎日が勉強の日々。食べるのが好き。

緊張!? 初めて打つ鍼

【しんの助 (以下し)】鍼灸の場面が出てくるドラマとか見たことある?..

【キユー (以下キ)】もちろんあります。

【し】少し昔のドラマだけど韓国の歴史ドラマブームの火付け役とも言われている「宮廷女官チャングムの誓い」は知っていますか?..

【キ】覚えてますよーよく見てきました。

【し】チャングムが鍼の技術を習得していくところで、最初に「木の人形」に鍼を打っていたよね。

【キ】私が鍼灸学校1年生の最初の頃は、かまぼこくらいの大さきの枕に鍼を打っていました。

【し】ほおー。自分も同じだったかな。もつ、思い出せない(苦笑)。

その後、チャングムは、人に鍼を打つことがなかなかできなくて葛藤する場面が出てくるね。

【キ】鍼灸学校では、クラスメイト同志で鍼灸の練習をするので、初めて鍼を打つ時にはクラス中に緊張感が走りました。その後は、いよいよ鍼灸師になるための一歩を踏み出したなあ、という気持ちになったことを思い出します。(遠目) もう6年くらい前の出来事です。

【し】チャングムのドラマの中には、他にツボの名前や脈診・証についても出てくるよね。

ツボは、経穴と言われるもので二千年くらいの歴史を持ち、徐々に体系づけられアジア諸国で発達した。現在では、WHO(世界保健機関)が標準部位を制定し、世界中の人の健康に役立っている。

【キ】うん、うん。

【し】脈診は、うんつか方法があるけど

れど、現在では手首でみる方法が広く用いられている。脈の速さや拍動の状態、強弱などで身体の状態を考察する方法だね。

証は、脈診のほか、色々な方法で身体の状態を診た後、不調の本質を見極めて何をするのかの方針を表したもので、と言えるかな。ちょっと難しい感じがするかな。



【キ】鍼灸学校で勉強している時は、東洋医学の考え方に触れて難しくもあつたけど、楽しかったです。でも、大腸溼熱とか肝鬱気滯とか肺腎陰虚とか、漢字の熟語だらけで目が回りました(泣)。

【し】ははは。

艾でモクモク?!

【し】続いては、日本の娯楽時代小説シリーズの「仕掛人・藤枝梅安」。作者は、池波正太郎さん。主人公の藤枝梅安は、腕の良い鍼師を表の顔として、

裏の顔は依頼されて暗殺を引き受ける「仕掛人」として生きている。ドラマや劇画にもなっているし、映画化もされているね。どれか見たことある？

【キ】 萬屋錦之介さん主演の映画と豊川悦司さん主演の映画を見ました。

【シ】 萬屋錦之介さん主演の映画は、監督が降旗康男さんだね。映画の冒頭で、梅安さんが鍼灸の施術をする場面があつて、うつ伏せになつたお客さんの背中や腰に「灸頭鍼」をやつていて煙がもくもくと出ていた。

〈灸頭鍼とは〉体に打つた鍼の頭に艾を球状にくっつけて燃やす。鍼の刺激と灸の輻射熱を同時に体に与えるもの〈灸とは〉ヨモギの葉を乾燥させて精製したもの〈



灸頭鍼



灸頭鍼

豊川悦司さん主演の映画は、河毛俊作監督の作品で二部作になつている。豊川悦司さんは梅安さんを演じるにあつて、本格的な鍼の指導を受けたそうだよ。映画の中で印象に残つた場面はある？

【キ】 食事の場面が何回かあるのですが、梅安さんが食べているものが、すごくおもしろいでした。

【シ】 そこと？（笑）確かに、季節の物を自分で調理して、丁寧な食事というか、食べることを疎かにしていない様子だつたよね。鍼師だし、医食同源とか気にしているのかなあ。

〈医食同源とは〉「医（薬）」と食べるものの源は同じ」という意味。自分の体調を見つめ、日々の食事に気を配ることと体調を整えるという考え方。

【キ】 ぜひ食べてみたいものばかりでした。

【シ】 江戸時代の食事の様子も楽しめるね。



※画像はイメージです。

管を使って鍼を打つ!?

【シ】 次は、韓国映画。ポン・ジュノ監督の「母なる証明」。主人公の母親は、漢方薬の材料の店を営みながら、息子と二人で暮らしていた。ある日、息子に殺人容疑がかかつてしまい、母親は息子の無実を疑わず、真犯人を探すためにひとり奔走する、というお話だけど、この映画は見た？

【キ】 この映画は、まだ見ていません。

【シ】 母親の強い気持ちに圧倒されるよ。ぜひ、見てみてね。

母親が近所の女性たちに短い管を使って鍼を打つ場面がある。現在の日本の鍼の打ち方として多く用いられて

いる管鍼法に似ていた。

管鍼法とは、江戸時代に、杉山和一

という人が編み出した方法で、鍼より少し短い管に鍼を入れて、わずかに

出た柄の部分の指先で軽く打つて、鍼を体に刺し入れる方法だよ。

【キ】 はい。江の島には杉山和一人のお墓がありますよね。

【シ】 この映画の中で、鍼はストーリーの重要なアイテムにもなっているよ。

それと「忘却のツボ」というのも出てくる。

【キ】 なんですか、それは？聞いたことがないです。

【シ】 映画の中で、母親が見つけたという設定のツボなんだそうだ。

君には何か忘れてしまいたいことがある？

【キ】 昨日食べた、大盛りのかつ丼です。

【シ】 記憶は消せたとしても、カロリーは消せないぞ。

【キ】 ですよ（泣）。

おにぎりサイズの艾に火をつける!?

艾をおにぎりくらいの大きさにして腕に乗せて火をつける、という、江戸っ子のやせ我慢や負けず嫌いの性分を滑稽に聞かせるお話した。

【キ】 わー。おにぎりサイズの艾ですか。とんでもないことをしますね。

【シ】 お灸の一般に浸透しているイメージは、親指の先くらいの大きさの艾に火をつけて、とても熱いもの、という感じだろうか。

【キ】 そつこでもうすね。

皮膚に直接乗せる場合の艾の大きさは、米粒や米粒の半分くらいの大きさなんですけどね。

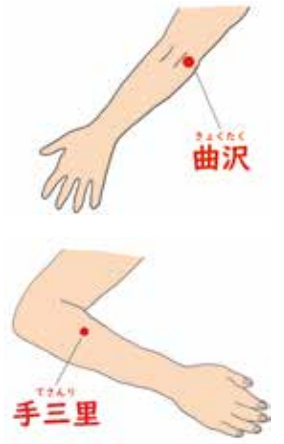
【シ】 お灸も、ぬくぬくと温かいものから、ピリッと刺激が入るものまで色々あるけれど、やたら熱いのを我慢しなければならぬみたいないイメージは変えていきたいよ。

【キ】 同感です。

【シ】 強情灸では落語家さんがお灸の熱さをやせ我慢する表現も見どころになっているから、できれば映像で見るとより楽しめると思う。

ちなみに、おにぎりサイズの艾を腕のどの場所に乗せるか、落語の流派によって違いがあるそうだ。腕の内側（ツボで言うと曲沢あたり）か、または腕の外側（ツボで言うと手三里あたり）に乗せる仕事をやる。ぜひ映像付きの話を楽しんで。

【キ】 探してみますー！



五千年以上前からツボがある?!

【シ】小説では「鷹野鍼灸院の事件簿」と「鷹野鍼灸院の事件簿 謎に刺す鍼」に「点す鍼」がある。作者は、鍼灸師でもある乾緑郎さん。新米鍼灸師の真奈さんとおとぼけ鷹野院長が舞い込む事件を解決していくミステリーだ、と、読んだことある?!

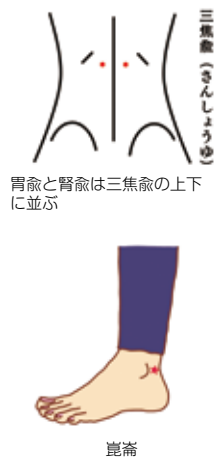
【キ】あります。鍼灸学校の学生の時に先生に教えてもらって読みました。
 【コ】ミステリー小説だから事件がおこって真奈さんが活躍するのだけれど、鍼灸師は施術する時、こんなことを考えているんだな、とか、東洋医学は体の不調にこのようにアプローチするんだな、など鍼灸や東洋医学に馴染みのない人には目新しい印象を持つかもね。
 【キ】そうですね。それに真奈さんは新米だけど鍼灸師としてしっかりといるなあと思いました。

自分が鍼灸師の一年目、二年目の時はどうだったかを振り返ると…(ガックリ)

真奈さんが怒りっぱいのと鷹野院長

に対しての態度は、ちょっとどうかな?とも思いましたが(笑)。

【シ】「鷹野鍼灸院 謎に刺す鍼」の方に、新石器時代のミイラ(アイスマン)の話が出てくる。(アイスマンとは、一九九一年に標高約三千メートルのアルプス山脈で見つかった約五千三百年前の凍結ミイラだ。(アイスマン)の体には小さな線の入れ墨が60個ほどあり、その入れ墨の位置が、胃脘・三焦脘・腎脘・崑崙など腰痛に効果のある現在のツボの位置と一致しているという一部の研究者は指摘している。



胃脘と腎脘は三焦脘の上下に並ぶ

【キ】びつくりですよね。そんな大昔から、ツボや鍼を使って体の不調を改善していたのでしょうか?
 【シ】本当に驚きだ。今も研究が進んでいるそうなので、今後、新たな発見があるかもしれないな。

背中に打った鍼が腹に響く?!

【シ】TVドラマの一場面やセリフの中にちよつと鍼灸が出てくることもあつた。

【キ】そんな小さなところで注目

するなんて、先パイ、変ですよ。(笑)
 【シ】ははは。大河ドラマ「光る君へ」の中にも主人公の父親が腰を痛めて、鍼を打たれる場面があった。宋の国から来た薬師(鍼師)が脈診などをして、背中か腰あたりに鍼を打つと、父親は「ぎゃー」と叫ぶ(苦笑)。

【キ】これって、父親が初めて鍼を受けて緊張していたのかもしれないけれど、鍼が痛かった、ということではなくて、得気(鍼の響き)が出た、ということでしょうか。
 【シ】そう思いたいね。背中に鍼を打つて、腹の方に得気が出る、とかもあるからね。父親も次のセリフで「良くなつたやも知れぬ」と言っているから腰の痛みが改善していると良いね。

【キ】はい。そうですね。
 藤野千夜さん原作のドラマ「団地のふたり」の中のセリフにも出てきます。主人公のノエチとなつちゃん(ふたりとも50代・独身・実家暮らしの幼なじみ)が会話している中で、「今、私が行きたいのはねえ、鍼灸院とか接骨院とか老眼の検査とか」「フッフ、失礼しました」ってのがあります。

【シ】細かい(笑)ー君も小さなところで注目しているじゃないか(笑)！
 【キ】実は私も、常にアンテナを張っています(笑)ー

現代ドラマの普通の会話の中に、自然に、鍼灸院とつづつが出てきて

うれしかったのです。特別に体の不調や痛みが無くても、普段の健康維持などで、ぜひ鍼灸院を利用してほしいです。気軽に家の近所の鍼灸院のドアを開けてみてください。鍼灸師はいつでも皆さまの健康についてご相談に乗りますので、ご来院をお待ちいたします。

【シ】家の近所の鍼灸院をぜひ探してみたいですね。

【キ】はいーぜひー
 それと、いつか鍼灸師が主人公のドラマを見てみたいですー(笑)。

文章中の写真、イラストはAdobe Stock、イラストACCから出典。

本文・キャラクターのイラストは、広報部で作成。

神奈川県鍼灸師会のホームページで家や職場の近くにある治療院を検索することができます。ぜひご利用ください。



発行日：令和6年11月30日

電話 FAX: TEL / 045-228-0046
 FAX / 045-228-0079
<https://harikyu-kanagawa.org/>

発行：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会
 〒231-0002
 横浜市中区海岸通4丁目21番
 倉田ビル5階

あなたに「ぴったり」 鍼灸院検索・予約サイト

行ってよかった、をすべてのひとに

健康  はり
with はりのマイカルテ

エリアと、自分に近いタイプを選ぶだけ！
自分にピッタリの鍼灸院が見つかる！

あなたに「ぴったり」の
鍼灸院はこちらから！

アクセス解析機能付きQRコード

- ・COOKIE（一意の識別コードを付与）
- ・IPアドレス（IPアドレスを基とした、簡易位置情報に変換後、IPアドレスは破棄）
- ・読取ったQRコードID（IDはクルクルマネージャー上で割り振ったもの）

